

## 平成 28 年度 専門部会の活動について

部会名	就労支援部会
目的	障がいのある方の就労に関する課題を共有し、改善策の検討及び実現に向けた取組みを行う
役割・内容	障がいのある方の職場定着に向けての具体的な取組みについて検討する
部会員	自立支援協議会委員：中村委員（部会長）、長谷川委員、松井委員 関係機関：静岡障害者職業センター、静岡市発達障害者支援センター、県ジョブコーチ
活動内容	<p>1. 平成 28 年度第 2 回（H28.9.7） ◎障がいのある方の職場定着に必要なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労関係機関・事業所のネットワークづくり</li> <li>・本人が気軽に立ち寄れる場所づくり</li> <li>・本人の就労への意識の強化</li> <li>・企業が障がい者就労の情報を取得できる環境</li> </ul> <p>↓ これらを解決する場として、ゆうやけ相談会の開催を決定</p> <div data-bbox="906 645 1428 1025" data-label="Diagram"> </div> <p>2. 第 1 回ゆうやけ相談会（H28.11.30） 会場：旧青葉小学校 2 階フロア・教室 出席者：中村委員、長谷川委員、静岡市発達障害者支援センター山川支援員、 就労移行支援事業所 4 事業所 （メディアベース、LITALICO ワークス静岡、G-STEP、ウェルビー静岡駅前センター） 静岡市障害者協会 県ジョブコーチ 紅林代表 来場者：3 名（知的障がい 2 名、精神障がい 1 名） 相談内容：職場の人間関係について（3 名）</p> <div data-bbox="1029 1256 1353 1503" data-label="Image"> </div> <p>3. 第 2 回ゆうやけ相談会（H29.1.20） 会場：就労移行支援事業所 LITALICO ワークス静岡 出席者：中村委員、静岡市発達障害者支援センター山川支援員、静岡市障害者協会 就労移行支援事業所（LITALICO ワークス静岡、ウェルビー静岡駅前センター） 県ジョブコーチ 紅林代表 来場者：14 名（身体障がい 1 名、知的障がい 5 名、精神障がい 8 名） 相談内容：仕事の仕方について（2 名）、職場の人間関係について（4 名） 仕事への意欲について（6 名）</p>
今後の予定 方向性など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうやけ相談会の結果を踏まえ、今後の展開について検討する。</li> <li>・第 1 回部会での課題整理等を踏まえ、全体的な就労支援策や進め方についてまとめる。</li> </ul>

平成 28 年度 専門部会の活動について

部会名	相談支援事業評価部会
目的	質の高い相談体制を整備し、相談支援事業の充実・強化を図る
役割・内容	①市相談支援事業の評価基準・評価方法の検討 ②事業者評価の実施
部会員	自立支援協議会委員：鈴木委員、畠山委員、山本委員、望月（融）委員、長谷川委員 関係機関：静岡市身体障害者団体連合会、静岡市静岡手をつなぐ育成会、静心会 オブザーバー：各福祉事務所障害者支援課、地域リハビリテーション推進センター
活動内容	<p>平成 28 年度相談支援事業評価 対象事業所 精神相談支援事業所 3 事業所 重心相談支援事業所 1 事業所 計 4 事業所 ※自己の業務の振り返りとして、自己評価シートについては市内全 11 事業所を対象とした。</p> <p>1. 第 1 回部会（H28.8.19） 事業評価の実施体制や評価項目、評価シート等について協議 →見直しの実施：アンケート期間の延長、ヒアリングの現地実施 等</p> <p>2. 被評価事業所へのヒアリングの実施（H28.11.29～12.6） 事業所から提出された各種シートや利用者アンケートの結果等について、各事業所を訪問し、相談室を利用してヒアリングを行った。</p> <p>3. 第 2 回部会（H28.12.20） 総評シートの作成 （詳細は参考資料 1 「平成 28 年度相談支援事業評価」を参照）</p> <div data-bbox="976 1173 1412 1458" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">ヒアリングの様子</p>
今後の予定 方向性など	2月 平成 28 年度対象事業所に対する評価結果・自己改善計画の通知 3月 自己改善計画の提出

平成 28 年度 専門部会の活動について

部会名	権利擁護・虐待防止部会
目的	障がいのある人の権利擁護・虐待防止を図るため、関係機関と連携した対応を協議する。
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①権利擁護・虐待防止に関する普及・啓発策の検討</li> <li>②虐待事例の情報共有及び検証</li> <li>③障がい者虐待の早期発見、再発防止策の検討</li> <li>④障がい者差別解消に係るネットワークの構築、取組みに向けての検討</li> </ul>
部会員	<p>自立支援協議会委員：江原委員、中村委員、原田委員、鈴木委員          関係機関：ピアサポート 李氏、社会福祉士 安藤氏、静岡県障害者協会          オブザーバー：各福祉事務所障害者支援課</p>
活動内容	<p>1. 第 2 回部会 (H28.11.21)</p> <p>(1) 障害者差別解消支援地域協議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①差別解消法に係る相談の状況について→平成 28 年 4～9 月実績 8 件</li> <li>②政令指定都市の地域協議会の状況→政令指定都市別委員数、委員の構成</li> <li>③協議会を構成する機関等の案の提示→行政、障害福祉関係機関のほか、              専門機関、民間事業者、学識経験者</li> <li>④設置までのスケジュール</li> </ul> <p>(2) 成年後見制度（市長申立て）の利用について              各区における市長申立ての状況調査の報告→制度の「見える化」の必要性              情報提供書などの様式の整備</p> <p>2. 事例検証会議（年度内実施予定）</p>
今後の予定 方向性など	<ul style="list-style-type: none"> <li>①差別解消支援地域協議会              当該協議会の正式運用に向けて、取組内容やメンバー構成等について協議を進めていく。</li> <li>②成年後見制度について              制度を運用している関係課との会議に情報提供し、課題解決にむけての検討を働きかけていく。</li> </ul>

平成 28 年度 専門部会の活動について

部会名	地域生活支援部会
プロジェクト名	強度行動障がい者支援施設サポートプロジェクト
目的	障がいのある人の地域生活を支援していく上での地域課題について、相談支援事業における事例等を通じて把握し、不足している仕組み・社会資源を満たすための方策を検討する。具体的な課題として「行動に課題のある人への支援」をテーマとし、支援について検討する
役割・内容	「行動に課題のある人への支援」として、強度行動障がい者をサポートする施設の対応能力の向上を図る施策を検討、実施する
部会員	自立支援協議会委員：望月（晃）委員（副座長）、佐野委員、檜垣委員 関係機関：静岡市障害者相談支援推進センター 堀越氏（座長） 障害者等相談支援事業所 わだつみ 鈴木氏 障害福祉サービス事業所 穴原荘 遠藤氏
活動内容	1. 強度行動障がい者支援施設サポート事業の開始（H28.9～） 【事業概要】 強度行動障がいのある者を受け入れしている通所系事業所から、対応が困難な利用者への支援についての助言・指導の申請があった場合に、アドバイザーを派遣し、適切な支援についてのアドバイスを行う。あわせて、事例等の検証会を開催し、事業所の支援力の向上を図る。 【対象】 通所系事業所（生活介護、放課後等デイサービス、就労継続支援 B 型等） 【実績】 ①アドバイザー派遣 12 件（当初予定 8 件）（H29.1.20 現在） ②検証会：平成 29 年 2 月 10 日～11 日 「フレームワークを活用した自閉症支援」（講演と演習） 講師／水野敦之氏（自閉症支援・コンサルタント） 共催：静岡市、（特非）静岡市障害者協会、（社福）玉柏会
今後の予定 方向性など	入所施設事業所において対応に困難さを感じている利用者への支援について、専門的な助言・指導する者を派遣する事業の実施に向け、準備をすすめていく。

平成 28 年度 専門部会の活動について

部会名	地域生活支援部会
プロジェクト名	ヘルパー人材確保・養成プロジェクト
目的	障がいのある人の地域生活を支援していく上での地域課題について、相談支援事業における事例等を通じて把握し、不足している仕組み・社会資源を満たすための方策を検討する。具体的な課題として「ヘルパー不足への対応」をテーマとし、対応策について検討する
役割・内容	ヘルパー不足への解消に向けた対応策を検討、実施する
部会員	自立支援協議会委員：山本委員（座長）、望月（晃）委員 関係機関：静岡市相談支援推進センター、 障がい者ヘルパー事業所ネットワーク静岡 ・ピロス 青野氏 ・移動支援事業所：めぶきの会、百花園
活動内容	1. 平成 28 年度第 2 回部会（H28.7.28） ①ヘルパーの負荷軽減の必要性 ②事業実施の為の経営モデルの必要性 ③移動支援と行動援護の整理 ④事業所間での情報共有の必要性  2. 平成 28 年度第 3 回部会（H28.11.28） ①精神障がい者へのヘルパーの対応について ②介護保険サービス提供事業所の障害福祉サービスへの参入について  3. 平成 28 年度第 4 回部会（H29.1.11） ①精神障がい者へのヘルパーの対応について →医療機関との役割分担、ヘルパーの手順書作成（個々のケースの対応例をまとめるなど） ②介護保険サービス提供事業所への働きかけについて →経営モデルや事業所指定を取るうえでの Q&A の作成などにより、障害福祉サービスへの参入を促進する。
今後の予定 方向性など	上記解決案の実現に向けて、具体的な対応を協議していく。

平成 28 年度 専門部会の活動について

部会名	地域生活支援部会
プロジェクト名	地域生活支援拠点プロジェクト (H28 新規)
目的	障がいのある人の地域生活を支援していく上での地域課題について、相談支援事業における事例等を通じて把握し、不足している仕組み・社会資源を満たすための方策を検討する。具体的な課題として「地域生活支援拠点」をテーマとし、その地域における役割について検討する
役割・内容	地域生活支援拠点の地域における役割等を検討する
部会員	<p>自立支援協議会委員            檜垣委員、山本委員、望月（晃）委員、佐野委員、岡庭委員、</p> <p>関係機関            静岡福祉大学 福祉心理学科 渡邊准教授            静岡市障害者協会 堀越氏            委託相談支援事業所 (葵区・精神) なごやか 渡邊氏、石割氏            (駿河区・身体) ピアサポート 李氏、劉氏            (清水区・知的) わだつみ 加藤氏            障害福祉サービス事業所 すずらん 遠藤氏</p>
活動内容	<p>1. 第 1 回部会 (H28.10.7)            過去の自立支援協議会の地域課題から、地域生活支援拠点が担うものを協議            →国のイメージする 5 つの機能（「相談」「専門性」「緊急時の受け入れ」「体験の機会・場」「地域の体制づくり」）と同類であった。</p> <p>2. 第 2 回部会 (H28.11.14)            第 1 回で抽出された課題のうち、「相談」機能について、「目指す姿」、「そのために必要なもの」をグループワークで協議            ①相談者にとって利用しやすい環境            →相談しやすい（敷居が低い）環境、情報の提供・発信・共有ができる環境            ②地域・関係機関のネットワークづくり            →関係機関の双方向の連携、外部機関を含めたネットワークの拡充・調整、地域づくり            ③相談員への支援            →人材と専門性の確保、関係者のモチベーションの維持、確保</p> <p>3. 第 3 回部会 (H28.12.16)            第 2 回部会で挙げられた 3 つの目指す姿について、それぞれの機関で「自分たちのできること」「地域生活支援拠点に協力をお願いしたいこと」を短期的・中長期的に取り組むもので並べ、「目指す姿」や「そのために必要なもの」をより具体化した。</p> <p>4. 第 4 回部会 (H29.1.16)            第 3 回で地域生活支援拠点の役割を具体化する中で、優先順位を付けて取り組むものを各グループで選定した。            →「地域・関係機関のネットワークづくり」「解決困難事例の体制づくり」            各機関の役割を具体的に協議した。</p>
今後の予定 方向性など	地域生活支援拠点の 5 つの役割である「相談」のほか、「専門性」「緊急時の受け入れ」「体験の機会・場」「地域の体制づくり」についても協議していく。

平成 28 年度 専門部会の活動について

部会名	地域移行支援部会（H28 新規）
目的	精神科病院に入院している方、または、障害者支援施設等に入所している方が、地域で生活するために、必要となる支援体制の整備など、障がいのある方の地域移行の推進に関わる課題や手法等を協議するため。
役割・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神障がい者の地域移行の推進と地域生活支援体制の整備 市内精神科病院における入院者等の地域移行・生活支援に係る課題の検討、事例の検証、課題解決のための仕組みづくりを行う。</li> <li>2. 身体障がい者（必要時開催）</li> <li>3. 知的障がい者（必要時開催）</li> </ol>
部会員	<p>①岡庭 隆門部会長（自立支援協議会委員）②長谷川浩志委員（自立支援協議会委員）          ③寺田 修委員（静岡県精神科病院協会）④大石 和樹 委員（静岡県精神科看護協会）          ⑤山本 晃弘委員（静岡県作業療法士会）⑥中村 倫也委員（静岡県精神保健福祉士協会）          ⑦望月 信吾委員（ワーキンググループ長） ⑧牧野 善浴委員（基幹相談支援推進センター）          ⑨奥村 敦毅委員（精神系相談支援事業所）⑩浅井 裕貴委員（静岡県弁護士会）          ⑪久保田兼子委員（地域家族会） ⑫松浦直四郎委員（民生委員児童委員協議会）          ⑬松本 晃明委員（こころの健康センター所長）⑭藤田 和伸委員（精神保健福祉課長）</p>
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域移行支援部会             <ul style="list-style-type: none"> <li>○開催：年 2 回程度開催予定 第 1 回 H28.12.5 開催(委員 13 名、傍聴 19 名、事務局 3 名) 第 2 回 H29.3 開催予定</li> <li>○協議事項                 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 障がい者の地域移行及び地域生活支援に係る取組みの推進に関すること</li> <li>(2) 多様な居住の場の確保の推進に関すること</li> </ul> </li> <li>○ワーキンググループの進捗管理</li> </ul> </li> <li>2. 地域移行支援ワーキンググループ             <ul style="list-style-type: none"> <li>○開催：毎月 1 回程度開催 H29.1.27、2.24、3.24 開催予定</li> <li>○協議及び事業内容                 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 退院支援・生活支援に係る地域課題の抽出、事例検証</li> <li>(2) 退院支援・生活支援に係る関係機関への啓発事業</li> <li>(3) 必要に応じた関係機関職員に対する研修事業</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>
今後の予定 方向性など	<p>ワーキンググループを官民協働（医療と福祉と行政の連携）の機会と位置付け、スムーズな地域移行と安定した地域生活の支援体制整備についての課題解決を行う。</p>



# 静岡市の精神障害者の地域移行推進関係体系図

